

Mizuho Daily Market Report

2024/3/28

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	151.72	151.33	▲0.23	+0.07
EUR	1.0825	1.0828	▲0.0003	▲0.0094
AUD	0.6529	0.6535	+0.0002	▲0.0051
SGD	1.3473	1.3476	+0.0019	+0.0079
CNY	7.2285	7.2260	+0.0093	+0.0281
MYR	4.7312	4.7345	+0.0140	▲0.0022
THB	36.44	36.42	+0.12	+0.24
IDR	15863	15855	+65	+140
PHP	56.23	56.22	▲0.10	+0.09
INR	83.33	83.38	+0.09	+0.21
VND	24780	24783	+8	▲1

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.190%	▲4.1 bp	▲8.3 bp
日本(10年)	0.725%	▲1.4 bp	▲1.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.292%	▲5.8 bp	▲14.0 bp
オーストラリア(5年)	3.644%	▲2.4 bp	▲4.8 bp
シンガポール(5年)	3.052%	▲0.4 bp	+1.3 bp
中国(5年)	2.195%	▲2.3 bp	▲2.6 bp
マレーシア(5年)	3.582%	+0.5 bp	▲0.9 bp
タイ(5年)	2.250%	▲0.6 bp	+0.4 bp
インドネシア(5年)	6.630%	+2.9 bp	+9.6 bp
フィリピン(5年)	6.065%	+0.2 bp	▲0.9 bp
インド(5年)	7.100%	▲1.0 bp	▲0.9 bp
ベトナム(5年)	1.840%	+3.0 bp	+8.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,760.08	+1.2%	+0.6%
N225(日本)	40,762.73	+0.9%	+1.9%
STOXX50(ユーロ圏)	5,081.74	+0.3%	+1.6%
ASX(オーストラリア)	4,325.93	+0.0%	+2.4%
FTSTI(シンガポール)	3,251.71	+0.6%	+2.3%
SSEC(中国)	2,993.14	▲1.3%	▲2.8%
SENSEX(インド)	72,996.31	+0.7%	+1.2%
JKSE(インドネシア)	7,310.09	▲0.8%	▲0.3%
KLSE(マレーシア)	1,530.60	▲0.5%	▲0.3%
PSE(フィリピン)	6,903.53	+0.1%	+0.7%
SETI(タイ)	1,380.83	+0.3%	+0.6%
VNINDEX(ベトナム)	1,283.09	+0.1%	+1.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	286.76	▲0.4%	+0.4%
金	2,194.79	+0.7%	+0.4%
原油(WTI)	81.35	▲0.3%	▲0.4%
銅	8,744.39	▲0.0%	▲0.8%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	150.80	—	151.90
EUR/USD	1.0740	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6690
USD/SGD	1.3400	—	1.3530
USD/CNY	7.2050	—	7.2680
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	35.20	—	36.78
USD/IDR	15580	—	15900
USD/PHP	55.00	—	56.60
USD/VND	82.30	—	83.70
USD/VND	24,500	—	24,900

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は151円台半ばの水準でオープン。田村日銀審議委員が金融政策運営について、ゆっくりと着実に正常化を進めていく考えを示すと市場はドル買い円売りで反応。151円台後半まで上昇後は鈴木財務大臣より強めの口先介入が入り、円売りは一服。夕方に3者会合のHLが伝わると円買いが加速。その後は為替介入警戒から上値重く推移。アジア通貨は概ね軟調。堅調な米経済指標を受けドル買いが優勢。

海外時間のドル円は鈴木財務相の円安牽制発言や米金利の低下を受け軟調な値動きとなり、151円台前半の水準でNYオープン。注目の米経済指標の発表を控えていない中、NY時間午前中は151円台前半を中心とした狭いレンジ推移が続く。NY時間午後は米7年債の堅調な入札結果を受け、米金利が低水準で推移する展開を横目に151円台半ばでの上値重い値動きが続き、151円台前半の水準でクローズ。

【金利】

米債市場はカーブがフラット化。四半期末が近づくと、NY時間に入ると米金利は低下。米7年債入札が強めの結果となると、長期ゾーンを中心に金利低下幅を拡大。

【予想】

本日も昨日と同様に神経質な展開が続くか。神田財務官からは「行き過ぎた動きに対してはあらゆる手段を排除せず適切な対応をとる」と為替介入を辞さないスタンスを示した。円安けん制のトーンは確実に上がっており、上値重い推移となるか。

【本日の予定】

(日本) 日銀 主な意見
(日本) 輪番 3-5y、5-10y、10-25y
(アジア) 2月 インド インフラ産業8業種
(アジア) 2月 インド 財政赤字
(アジア) 2月 シンガポール シンガポール国外居住者預金・残高
(アジア) 2月 豪 小売売上高 / 民間部門信用
(アジア) 3月 NZ ANZ消費者信頼感指数
(アジア) 3月 豪 消費者インフレ期待
(アジア) 休場 マレーシア、フィリピン
(欧州) 2月 伊 PPI
(欧州) 2月 愛 小売売上高
(欧州) 3月 伊 景況感指数 / 消費者信頼感指数 / 製造業信頼感指数
(欧州) 3月 愛 CPI(速)
(欧州) 3月 独 失業率 / 失業保険申請率
(欧州) 3月 英 ロイズ 景気指数
(欧州) 4Q 英 GDP(確) / 経常収支
(米国) 2月 中古住宅販売仮契約
(米国) 3月 MNI/コアPCE
(米国) 3月 カガズシティ連銀製造業活動
(米国) 3月 ミシガン大学消費者マインド(確)
(米国) 4Q GDP / GDP価格指数
(米国) 4Q コアPCE価格指数
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。